



安全データシート (SDS)

1. 化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8

担当

TEL(03)3270-2701

FAX(03)3270-2720

緊急連絡 同上

改訂 平成28年1月29日

化学物質等のコード : 1501-1130

化学物質等の名称 : n-オクチルアミン塩酸塩



2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性
急性毒性(経口) : 区分4
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2A

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報
飲み込むと有害(経口)
強い眼刺激

注意書き

【安全対策】

保護手袋、呼吸器保護具、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

粉じん、ミスト、蒸気の吸入を避けること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせず、医師に連絡すること。

吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合、水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に

外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

皮膚又は付着した場合、石鹸と流水又はシャワーで洗うこと。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

【保管】

日光から遮断し、換気の良い冷暗所に施錠して保管すること。

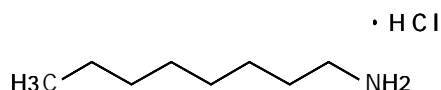
吸湿性があるので、使用後は速やかに密封して保管すること。

開封後は速やかに使用すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。



3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名 : n-オクチルアミン塩酸塩
(別名) 塩酸n-オクチルアミン、塩化n-オクチルアンモニウム、
塩酸オクチルアミン、塩化オクチルアンモニウム
(英名) n-Octylamine hydrochloride、n-Octylammonium chloride、
Octylamine hydrochloride、Octylammonium chloride
成分及び含有量 : n-オクチルアミン塩酸塩、98.5%以上(乾燥後)
化学式及び構造式 : CH₃(CH₂)₆CH₂NH₂·HCl、C₈H₁₉N·HCl
構造式は上図参照(1ページ目)。
分子量 : 165.71
官報公示整理番号(化審法) : (2)-153 (n-オクチルアミンの付加塩に該当するため、
既存化学物質扱い)
<参考>
n-オクチルアミン : (2)-153

CAS No.	: 未登録	塩酸	: (1)-215
		n-オクチルアミン	: 111-86-4
危険有害成分	: n-オクチルアミン塩酸塩	塩酸	: 7647-01-0

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 気分が悪い時は、医師の診断、治療を受けること。
皮膚を速やかに洗浄する。
多量の水と石鹼で洗う。
皮膚を流水又はシャワーで洗う。
- 目に入った場合 : 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類は適切に処理すること。
直ちに、水で15分以上注意深く、顔を横に向けて洗う。まぶたを親指と人さし指で拵げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。
コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合には外して洗浄すること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに口をすすぎ、医師に連絡すること。
吐かせると嘔吐物で再度、のど、食道、気道を刺激するので、無理に吐かせないこと。
食道や胃粘膜を保護するため、コップ1杯程度の牛乳、水、又は生卵を飲ませる。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- 予想される急性症状及び遅発性症状：情報なし

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 本製品は可燃性である。
二酸化炭素、粉末消火剤、泡消火剤、散水、噴霧水、乾燥砂
- 特有の危険有害性 : 火災により刺激性、腐食性又は毒性のガス、蒸気を発生する恐れがある。
- 特有の消火方法 : 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
風上より消火し、環境へ流出しないよう漏洩防止処置を施す。
消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め適切な防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。
漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。
風上から作業し、粉じんなどを吸入しない。
粉じんが飛散する場合は、水噴霧し飛散を抑える。
密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。
- 環境に対する注意事項 : 河川、下水道、土壤に排出されないように注意する。
海上で薬剤を使用する場合は、運輸省令の規定に適合すること。
- 回収、中和 : 漏洩物を掃き集め、密閉できる空容器に回収する。
漏洩物が飛散する場合は、水を散布し湿らしてから回収する。
回収した漏洩物は、後で産業廃棄物として適正に廃棄処分する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 危険でなければ漏れを止める。
- 二次災害の防止策 : 事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
近くに裸源、発火源があれば、速やかに取除く。
床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
粉じん、ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。
- 局所排気・全体換気 : 必要に応じて換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。
- 安全取扱い注意事項 : すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
皮膚、粘膜等に触れると、炎症を起こすことがある。また、目や口に入ると刺激を受ける恐れがある為、使用の際には十分気を付けること。
取扱い後はよく手を洗う。

・海域に排出されるもの
 5.0以上9.0以下
 「生物化学的酸素要求量及び化学的酸素要求量」
 〔排出基準〕160mg/L 以下（日間平均 120mg/L 以下）
 「窒素の含有量」
 〔排出基準〕120mg/L 以下（日間平均 60mg/L 以下）
 （注）排出基準に別途、条例等による上乘せ基準がある場合は
 それに従うこと。
 輸出貿易管理令 : 別表第1、16項（キャッチオール規制）
 HSコード（輸出統計品目番号、2015年版）：2921.19-000
 第29類 有機化学品
 「非環式モノアミン塩 - その他のもの」

16. その他の情報

用途（当該製品規格に限定されない一般的な用途）
 : 試薬、有機合成原料、合成中間体、医薬・医薬中間体、はんだフラックスなど

（注）本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

参考文献 :

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances	NIOSH CD-ROM
GHS分類結果データベース	nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルMSDS情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。